

豊島区

国際アート・カルチャー都市構想【解説編】







## 豊島区国際アート・カルチャー都市構想策定にあたって

豊島区は、多様な人々を受け容れながら、都市として発展していく過程で、多くの若者たちが池袋モンパルナスやトキワ荘などを舞台に、新たな表現文化の源流をこのまちから生み出してきました。

そして近年、マンガやアニメなど、クールジャパンとして世界から注目されるサブカルチャーの拠点が池袋を中心に続々と誕生し、新たな文化の風がこのまちに吹き始めています。

こうした文化の多様性は、豊島区が誇る宝物です。

安全・安心な都市空間の中で、誰もが多様な文化を享受し合い、世界中の人々を魅了する賑わい溢れる都市の将来像を、「国際アート・カルチャー都市構想」としてまとめました。

新庁舎の完成を機に、このまちの姿が大きく変わろうとしている今、この新たな都市像の実現に向け、区民の皆さんとともに、全力で取り組んでまいります。

平成 27 年 6 月 豊島区長 高野 之 之

### ◆アート・カルチャーとは

「芸術文化」という言葉で一般的にイメージされる枠組みを超え、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力で、カルチャーの語源そのままに、まちを耕すことを意味します。

まちを構成する多様な人々の参加と協働により、アート・カルチャーのまちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市の実現をめざします。

※カルチャー（culture）の語源は、「耕す」という意味のラテン語「コレール（colere）」です。

